

## 沖縄7オロ一学習会開催!

### 平和に対する若者の声! ①

日本からウクライナへ支援をしているが、物資の内容が防弾チョッキなど戦争に加担するようなものが含まれている。戦争を支援するのではなく戦争を止めることが優先のはずなのではと感じる。

ロシアからみて日本も隣国。侵攻されてもおかしくはないという現状だが、恐怖心を煽り、単に武装・軍事力強化をするのではなく、交渉を各国交えておこなうべき。

かつての沖縄も今のロシア・ウクライナと同じ状況だったと思います。いつ死ぬか分からない恐怖の中、生と死と隣り合わせの状況で過ごしてきたと思います。憲法9条を撤廃するという事は戦争を可能にすることと同じことになります。戦争は絶対反対です。安心して1日を過ごせないし、野球をすることも出来ません。

沖縄の人たちの悲しみを同じくらい感じることは出来ないと思います。しかし、同じような思いをさせない事は出来ると思います。今一度、自分自身何が出来るか考えて、出来ることは一所懸命に取り組みたいと思います。



今回のウクライナ侵攻では、SNSの発達により、より現状が生々しく報道されており、戦争の悲惨さというのを生々しく感じている。過去の歴史を振り返っても、鉄道施設というのは攻撃の対象となり、破壊され犠牲となった先達がいることを私たちは忘れてはならない。



## 沖縄7オロ一学習会開催!

### 平和に対する若者の声! ②

平和とは何でしょうか?

今こそ、1人ひとりが平和について真剣に考えて、自分にできることを少しずつ行動に移していく必要があります。大切な家族や友人、仲間を失いたいですか? 今の仕事や生活が普通にできなくなってもいいですか?

戦争は、いつも老人が起こして犠牲になるのは一般市民です。決して他人事ではありません。

戦争がダメだという一方、どこか他人事のように思っており当事者意識が薄れてしまっている現状がある。戦争が始まると犠牲になるのは必ず立場の弱い私たち。権力者は味方ですら嘘を吹き込み戦地へ送り込み戦争に行かずただ我々弱者を駒のように扱い外で見ているだけである。そんな命を粗末に扱う戦争を我々は絶対に引き起こしてはならない。そのために我々立場の弱い人たちが団結して訴えることで世の中の風潮を変えて行かなくてはならない。権力が行き過ぎると声を上げる事すら出来なくなってしまう。戦争の悲惨さを風化させないために、我々に何ができるかを共有し行動を起こしていく必要がある。

日本の国会議員の中には今回のロシアのウクライナ侵攻に伴い、ウクライナの現状を目の当たりにし、祖国のために命を問わず戦う姿に勇気を感じたなど述べている。あたかも軍事力の強化と戦争の実施を促しているように聞こえる。戦争は権力者にとっては高みの見物であり、弱い立場の我々が犠牲になるのは明白。



戦争を決定するのは戦地に行かない権力を持った人であり、戦地に行くのは権力を持たない一般人

## 戦争の被害者は私たち弱者だ!

## 沖縄7オロ一学習会開催!

### 平和に対する若者の声! ③

現在、ロシアによるウクライナの侵略行為が行われており、ロシアは主に国内向けに「侵略行為はフェイクである」「ゼレンスキーは嘘つきである」という声明を発売し、ロシア国民を欺き、国際社会から反感を買っている。同じ人間として、平和な社会を作る気がなく、自分の利益のみしか考えていないロシアの権力者たちには怒りしか感じない。

ロシアでは正しいことを言いたくても言えない状況に置かれている。一国の状況と私たちでは状況が違うがどこか似ている部分もあるのではないだろうか。私たちは言いたいことを言えているだろうか。

日本においても他人事ではなく、原油価格の上昇など、私たちの生活に大きく影響を及ぼしています。また、北朝鮮もこの機会に乗じてミサイル発射に力を入れている。

テレビや新聞で「キエフまで30kmのところまでロシア軍が来ている」という報道を聞いた事があると思います。金ヶ崎に戦車があると仮定して、私たちは安堵して暮らせるのでしょうか?どこに逃げたらよいのでしょうか?



会社に置き換えると、施策を決定するのは権力を持っている会社役員、施策を担っているのは権力を持たない我々一般社員なのです。社友会の人たちは会社の駒でしかないのです。個々の能力以上の仕事をしたり、本来すべき業務が蔑ろになりサービスの低下になったり…やりがい搾取されていませんか?組合に所属していないということは有無を言うことすら出来ません。

一関



30 km

金ヶ崎

